

第6節 ともに進める『善きふるさと所沢』の環境づくり

環境指標の達成状況

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況					最終目標値
			2017年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2028年
市ホームページ及びSNSによる環境情報の発信件数	件	増加	1,420	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	3,600
				1,380	1,889	1,595	1,871		
				×	×	×	×		

※「環境学習関連事業の参加者数」はP16 第2章 第4節 協働・学習プロジェクト参照

【現状及び課題】

◆SNSのフォロワー数は増えたが、発信件数目標は未達成

「市ホームページ及びSNSによる環境情報の発信件数」については、SNSによる発信は多くの人々に見てもらえるように、発信するタイミングや1日の発信件数等を考慮した結果、目標達成には至りませんでした。しかし、SNSのフォロワー数は前年度から115%（計781名→902名）増加しており、様々なターゲットに向けて情報を発信することができています。今後も、分りやすく興味を持てる環境情報の定期的な発信に加え、適宜必要な情報の発信に努めます。

主な施策の実施状況

6-1 環境づくり・人づくりの推進

6-1-1 持続可能な環境づくりの推進

OCOP27で開催された会議（サイドイベント）への出席

2022年11月にエジプト・アラブ共和国（シャルム・エル・シェイク）で開催された国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）のサイドイベント（会議）に、世界首長誓約/日本からの要請を受けて日本の自治体代表として、藤本市長が登壇しました。このEUパビリオンで開催された世界首長誓約主催の会議の他に、イクレイ主催と環境省主催の会議とあわせて3つの会議に参加し、所沢市の地球温暖化対策の取組や自治体として気候変動対策をリードしていく姿勢を世界に向けて発信しました。



■藤本市長によるスピーチの様子

○国際都市地域間協カプロジェクト（IURC プロジェクト）

欧州連合（EU）の都市と世界各国の都市がペアを組み、取組分野を決め、相互訪問や会議等を通じてお互いの都市の課題や成功事例を共有しながら、持続可能な都市の実現に向け連携協力を実施するプログラムです。

2022年度は、9月にペア都市であるスロバキア共和国・ブラチスラバ市から2名が来日し、「エネルギーの地産地消」をテーマに視察を行い、2023年3月には所沢市職員3名がブラチスラバ市を訪問し、環境・エネルギー・交通・まちづくり等の取組を視察する等、互いの施策の情報共有を行いました。



■ブラチスラバ市訪問の様子

## 第6節 ともに進める『善きふるさと所沢』の環境づくり

### ○所沢市マネジメントシステム推進事業

環境配慮事項伝達書に、受注者においても「所沢市マネジメント方針」や「所沢市脱炭素社会を実現するための条例」の趣旨を理解し、従業員の環境意識の向上を心掛け、事業活動における環境配慮に積極的に努めるよう、6つの分野（①脱炭素社会の構築、②みどり・生物多様性の保全、③循環型社会の形成、④大気・水環境等の保全、⑤魅力的な都市環境の創造、⑥協働・実践・教育の推進）について、明記しました。

### ○近隣5市（ダイアプラン）における共同事業

2021年2月のゼロカーボンシティ共同宣言を受け、近隣5市（所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市）で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）の環境部会では、共同の取組として小中学生に環境問題について関心を持ってもらうための「環境ポスターコンテスト」を実施しました。環境ポスターの募集では、約1,900作品の応募があり、その中から優秀作品20点を選出し、各市の公共施設で展示しました。

### 6-1-2 環境教育・環境学習の推進

#### ○ESD 調査研究協議会

ESD（持続可能な開発のための教育）調査研究協議会では、各学校が「今行っている教育活動がESDとつながっている」ことに気づき、持続可能な社会の創り手を育成することができるよう支援する趣旨の調査研究を行っています。

2022年度は、ESDに関する授業実践や、所沢ESD通信号外の作成、研究発表、教育センターホームページで研究に関する刊行物の公開等を行いました。

#### ○マチエコリーダー養成講座

地球温暖化対策を中心とした、環境に係る意識や基礎知識を持ち、主体的な環境行動（環境配慮行動、環境教育、啓発活動等）ができる人材を育成することを目的に、マチエコリーダー養成講座を実施しました。

[2022年度実績] step1 基礎編修了者：9名 / step2 実践編修了者：6名

#### ○出前講座の実施

本市では、10人以上で構成された団体等の申請に応じて、市の職員を講師として派遣し、行政課題への対応や市政の状況等について情報を提供する「出前講座」を実施しています。2022年度の環境に係る出前講座は、開催回数17件、参加者総数665人と、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年よりも大幅に増加しました。

#### ○マチごとゼロカーボン市民会議

※P17 第2章 第4節 協働・学習プロジェクト参照

#### ○地球にやさしいこどもサミット

※P17 第2章 第4節 協働・学習プロジェクト参照

## 第6節 ともに進める『善きふるさと所沢』の環境づくり

### ○小中学生に向けた出前講座・環境学習

子どもの環境学習の機会を創出するため、小中学校で環境に係る出前講座を行いました。

[2022 年度実績]

- ・「環境行動で SDGs のゴールを目指して」  
南陵中学校 1 年生 (210 名)
- ・「かんきょうもんだいとわたしたちにできること」  
三ヶ島小学校 4 年生 (55 名)



■三ヶ島小学校で実施した出前講座の様子

### ○小学生用環境教育副読本「わたしたちの環境」

市内小学校の 4 年生を対象に 2022 年度版の「わたしたちの環境」を作成し、配布しました。新学習指導要領との整合性を高めると共に、児童がより環境問題を自分事として考える事ができるよう工夫しています。



■わたしたちの環境

### ○市の初級職員に対する環境研修

初級職員研修の一環として、おおたかの森トラスト代表を講師とする研修をくぬぎ山周辺にて実施しました。講話の聴講のほか、ナラ枯れの木の伐採・枝落とし等の体験を通して、本研修の目的である、所沢市の生物多様性に関する課題や考え方について学びました。

## 6-1-3 環境保全活動の推進

### ○自治会・町内会への支援

本市では、「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」に基づき、地域活動の中心的な役割を担う自治会・町内会への加入と参加の促進を図るとともに自治会・町内会の活動を支援しています。

加入促進パンフレットの配布や、加入促進ポスター展を開催し、自治会活動を周知するなど、自治会・町内会の活動を支援しました。

### ○環境推進員による活動

地域での環境保全活動を推進するために、市から委嘱を受けた 1,052 名が所沢市環境推進員として、リーダー的立場で生活環境保全活動に積極的に取り組んでいます。主な活動として、「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動、ごみ減量・リサイクルの推進活動などが挙げられます。また、環境推進員の資質向上を図るための事業として、会報の発行なども積極的に実施しています。

### ○市民活動支援事業「所沢市アダプト・プログラム」

本市では、環境美化活動として“アダプト・プログラム”を実施しています。アダプト (ADOPT) とは、英語で「～を養子にする」という意味です。道路、公園、緑地、河川・水路等の市が管理する一定区画の公共空間を養子にみだて、市民が里親となって養子の美化 (清掃) を行い、行政が支援するという美化活動です。

[2022 年度実績] 登録団体数：41 団体

### 6-2 環境情報の整備と共有化の推進

#### 6-2-1 環境情報の体系的な整備

##### ○環境情報の体系的な整備

市民や事業者が環境に関する情報にアクセスしたい時に、分かりやすい形でアクセスできるよう、体系的な情報整備を行っています（所沢市の環境、環境データブック、清掃事業概要、スマートフォン用家庭ごみ分別アプリケーション「わけトコっ!」、ホームページ、メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢の発電、SNS等）。

#### 6-2-2 環境情報の共有化の推進

##### ○情報提供及び啓発

まちごとエコタウン推進課の業務紹介、環境に関する用語紹介、メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢の毎月の発電実績、RE100の日等について情報発信を行いました。また、視覚的にわかりやすい投稿を目指し、投稿内容・デザインの刷新を行いました。

##### ○ふるさとのみどり啓発事業

本市の豊かなみどりを多くの方に知っていただくと共に、保全活動やまちなかの緑化の推進活動を促すきっかけづくりの啓発事業として、広報紙や市ホームページ等にて緑地や活動団体の紹介を行いました。

また、生物多様性に関する普及啓発の一環として、市役所1階の市民ホールにて市内の生きものや自然環境を紹介する展示を行いました。

##### ○トコロんとゼロカーボンシティのコラボレーションイラスト

ゼロカーボンシティについて広く市民に周知啓発するため、市民をはじめ多くの人から愛されている所沢市イメージマスコット「トコロん」と、ゼロカーボンシティロゴのコラボレーションイラストを作成しました。本デザインを用いた缶バッジを作成し、はじめよう“エコファミリー”認定事業の参加賞として配付する等、幅広く活用しています。



■コラボレーションイラスト

##### ○環境ギャラリー

気候変動の現状と家庭でできる取組等の周知を行うため、①気候変動の現状と家庭からの排出量、②家庭でできる各種取組、③地産地消のあったかレシビ、④国外の動向について、市役所1階市民ホールで展示を行いました。

併せて、安い・美味しい・早い等、来場者がやってみようと思える行動の展示や、脱炭素社会の実現を目指した国際的な連携（COP27）、国外の取組（バルセロナのまちづくり）も展示しました。



■環境ギャラリーの様子